劇薬、処方箋医薬品

子宮収縮止血剤

日本薬局方 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩錠

メチルエルゴメトリン錠 0.125mg「あすか」

子宮収縮止血剤

メチルエルゴメトリンマレイン酸塩注射液

メチルエルゴメトリン注 0.2mg「あすか」

- 医薬品の適正使用に欠かせない情報です. 必ずお読みください. -

「使用上の注意」改訂のお知らせ

この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。 本剤のご使用に際しましては、下記の改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。 改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報(DSU)No.315 に掲載される予定です。

2023 年 3 月

あすか製薬株式会社

改訂内容(____:改訂箇所)

改訂後

改 訂 前

- 2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)
- 2.1~2.5 省略
- 2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤 (リトナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル)、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬 (イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール)、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル、5-HT1B/1D 受容体作動薬 (スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン)、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者 [10.1 参照]
- 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
- 2.1~2.5 省略
- 2. 6 HIVプロテアーゼ阻害剤 (リトナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル)、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬 (イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール)、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、5-HT_{1B/1D} 受容体作動薬 (スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン)、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者 [10.1 参照]

(次ページへ続く)

10. 相互作用

本剤は主にCYP3A4で代謝される。

10.1 併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状· 措 置 方 法	機序·危険因子
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア) アタザナビル (レイアタッツ) ホスアンプレナビル (レクシヴァ) ダルナビル (プリジスタ・プリジスタナイーブ) エファビレンツ (ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール (ブイフェンド) ポサコナゾール (ブイフェンド) ポサコナゾール (ノクサフィル) コビシスタット含有製剤 (スタリビルド) ニルマトレルビル・リトナビル (パキロビッド) [2.6参照]	本剤の血中濃 度が上昇を が上昇縮等 の重 の重 の重 を 記 と す が あ る。 き き さ さ さ さ き き さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ	
レテルモビル (プレバイミス) エンシトレルビル (ゾコーバ) [2.6参照]		CYP3Aの阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。
省略		

10. 相互作用

本剤は主にCYP3A4で代謝される。

10.1 併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状· 措置方法	機序·危険因子
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア) アタザナビル (レイアタッツ) ホスアンプレナビル (レクシヴァ) ダルナビル (プリジスタ・プリジスタナイーブ) エファビレンツ (ストックリン) アゾール 系抗真菌薬 イトラコナゾール (ブイフェンド) ポリコナゾール (ブイフェンド) ポサコナゾール (フクサフィル) コビシスタット含有製剤 (スタリビルド) ニルマトレルビル・リトナビル (パキロビッド) [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管 攣な 副作用を起こする。	本剤での報告はないが、 CYP3A4の 競合阻害により、本阻剤の 代謝がおそれがある。
レテルモビル(プレバイミス) [2.6参照]		CYP3Aの阻 害作用によ り、本剤の代 謝が阻害さ れるおそれが ある。
省略		

以上

~最新の添付文書はこちらから~

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」





メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」

(01)04987123504461

